

専攻及び受験曲名等の申告票 (令和6年度)

名 前	受験 番号
-----	----------

*A欄には、希望する専攻を選んで○印を記入すること。なお、サクソフォンについては、演奏する楽器の種類（ソプラノはS、アルトはA、テナーはT、バリトンはB）を○で囲む。
 *B欄には、A欄で○印をつけた専攻の課題についてそれぞれの指示に従って記入すること。
 *声楽、管楽器及び打楽器の課題bについては、出願の際、この申告票とともに楽譜（写し）〔大きさはA4判〕を1部提出すること。提出する楽譜の最終ページの裏面左下に、名前を記入すること。

A欄	専 攻	B 欄 (受 験 曲 名 等)	
	声 楽	課題 a	「コンコーネ50番練習曲」第7番、第14番〔低声用 中声用 高声用〕(○で囲む。) ※出版社名を右の()の中に記入する。()
		課題 b	曲名を一つ選び下の()に○を記入する。その調性について○で囲む。 ()「夏の思い出」……………〔ニ長調 変ホ長調 へ長調〕 ()「浜辺の歌」……………〔へ長調 ト長調 変イ長調〕 ()「早春賦」……………〔ニ長調 変ホ長調 へ長調〕 ()「Caro mio ben」……………〔ハ長調 変ホ長調 へ長調〕 ()「Nel cor più non mi sento」…〔変ホ長調 へ長調 ト長調〕 ()「Nina」……………〔ニ短調 ホ短調 ト短調〕 ()「Sebben, crudele」……………〔ハ短調 ニ短調 ホ短調〕
	ピ ア ノ	課題 a	J. S. バッハ：「平均律クラヴィーア曲集 第1巻」第6番 二短調 BWV851 フーガ
		課題 b	ベートーヴェン：ピアノソナタ〔第2番Op. 2-No. 2 第4番Op. 7 第6番Op. 10-No. 2 第7番Op. 10-No. 3 第11番Op. 22 第16番Op. 31-No. 1〕(○で囲む。)の第一楽章
	ヴァイオリン	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 1 ヴァイオリンの課題
		課題 b	モーツァルト：協奏曲〔第3番(K. 216) 第4番(K. 218) 第5番(K. 219)〕 (○で囲む。)の第一楽章
	ヴィオラ	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 2 ヴィオラの課題
		課題 b	H. エクレス：ソナタ(ト短調・ヴィオラ用、ポール・クレンゲル編による。)
	チェロ	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 3 チェロの課題
		課題 b	J. ウェルナー：「チェロ教則本」〔No. 3 No. 6 No. 10a No. 11a No. 13a No. 17a No. 18 No. 20〕(○で囲む。)
	コントラバス	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 4 コントラバスの課題
		課題 b	F. シマンドル：「30エチュード」〔No. 1 No. 2 No. 3〕(○で囲む。)
	フルート	課題 a	専攻実技課題曲集 No. 5～16 のうち、それぞれの楽器の課題曲
	オーボエ		
	クラリネット		
	ファゴット		
	ホルン		
	トランペット		
	トロンボーン		
	テューバ		
	サクソフォン S・A・T・B		
	ユーフォニアム		
	小太鼓	課題 b	1～3について記入する。 1 曲名・作品番号等 2 作曲者名 3 編曲者名
	マリンバ		
コントラバス、小太鼓について、検査会場の楽器を使用〔する しない〕(○で囲む。)			